



社長の気ままなコラム

私のひとりごと

高速を歩く！？

昨年結婚した長男夫婦が、新婚旅行を兼ねて海外旅行に出かけると言う。一番お値打ちに行けるツアーを探し、選んだ出発日が2月2日。関西国際空港を午後9時15分出発である。その日は、嶺南地方を中心に大雪が降った日で、よりによって大当たりの日だ。JR北陸線は朝から運休の為、私が米原駅まで送って行く事になった。高速で30分程の距離だが、念のため午後1時過ぎに出発。家内が出掛に、「雪道は何があるか解からないから」と、少々の食べ物とお茶を渡してくれたが、これが、とんでもない出来事の幕開けになろうとは、その時、知るよしもなかった。

高速を順調に走っていたが、道路情報で長浜から米原まで通行止！ 長浜を先頭に1キロ渋滞との事。1キロぐらいならと、そのまま進む事にしたが、すでに3キロ手前まで渋滞が始まっていた。最初は少しずつ動いていたが、2キロ手前で全く動かなくなった。更に、名神も通行止との事。そのうち何とか…と思って、はや3時間が経過。焦る気持ちを抑え、旅行会社に状況報告すると、「午後8時15分までに搭乗手続きを済まさないで、キャンセルになります。」との事。このままでは、間違いなく間に合わない！

そのうち息子が「長浜駅まで5キロ程だから歩く」と言い出した。大きなスーツケースを2個も持った事なので、私は「止めろ」と止めにかかる。「歩く」「止めろ」の押し問答が20分程。正確に言えば、「今回は旅行を諦めろ！」と説得していた。「同じ諦めるのなら、やるだけの事をして」と引き下がらず、そのうち嫁まで歩くと言い出した。それでは、スーツケースを置いて、体一つで歩くのならと、了解はしたが、結局スーツケースも持ち出した。走行車線と追い越し車線に、ピシッと渋滞した車の間を、大きなスーツケースを両手に持ち走る息子と、後を追いかける嫁の後ろ姿を見送る心境は、世の親御さんなら容易に想像して頂けると思うが、私にはただ、無事に着ける事を神に祈るしかなかった。そんな祈りが通じたのか、3分も経たないうちに車が動き出し、通行止めが解除されたのだ。500m程先で苦笑いの二人を拾う事となったが、「車の間を走っていると、排気ガスで苦しかった」との事。まったく～…。しなくてもよい経験をしたものである(笑)。

ホットしている時間も勿体なく、米原駅を目指し、米原インターで下りたが、今度は一般道も渋滞している。迷っている時間も無く、電車を諦め、Uターンし、車で関空まで走る事にすると、こんな事態になるとは思ってもいなかったので、乗ってきた車は、仕事で使う軽バン。10年以上も前の車で、走行距離も21万キロと、かなりお疲れの車。距離計算では、関空まで100キロ以上のスピードで走らないと間に合わない。ところが、米原から栗東まで、除雪車にブロックされてノロノロ運転。もはや万事休す！と思われるが、高速を走った二人の事を思えば、簡単に諦める訳にはいかない。



除雪車をかわしてからは120キロ超えのスピード。息子が「異常音するで！」「オイル入ってるんか？」「この車大丈夫か？」と、さかんに聞くが、そんな事は私にも解からない。とにかく関空目指して走るのみである。京磁バイパスから近畿道、阪和道と比較的、車が空いていたのが幸いであった。関空到着時刻は午後7時50分。「ヤッホ～。間に合った！」二人は喜び勇んで出発ロビーに消えて行った。

二人を見送った後、ふと我に返った私の格好は、作業ズボンに長靴姿…。関空で完全に浮いているその姿に、なんだか気恥ずかしくなってしまった…。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう
ございました!!

